

福井大学留学生センターニュース

お2ね



2003
Autumn
Vol.4

帰国留学生及び 在学留学生の皆さんへ



留学生センター長 長谷川 守男

福井大学留学生センターニュース「こころねっと」が創刊されたのは、2001年11月です。当時の留学生センター長であった黒木哲徳教授は「創刊によせて」という題のもとで、「約160名の留学生」がおり、さらに「200名の受け入れを目指して努力している」こと、また

この「こころねっと」への期待として、「帰国留学生」や現に「福井大学で学んでいる留学生」と「福井の地域の人々をつなぐ大きな架け橋としての役割を担ってほしい」と述べられています。今年は2003年ですが、学生の数はもちろん、黒木教授の先のような期待も満たされているばかりでなく、さらに一層新たな目標に向けて飛躍していく出発点の年になると言えるでしょう。

というのは、一つは、1995年に「留学生相談室」として出発し、2000年4月の学内措置としての「留学生センター」を経て、2003年4月にかねてより念願であった省令施設としての「留学生センター」の設置が認められたことです。その意味するところは、まずセンターに専任教員ポスト（教授3、助教授2）が認められたこと、そして、センターを支える事務組織として留学生課が設置され、現在そこに課長、専門職員2、主任1、係員（非常勤）1が配置されていることです。すなわち、留学生の皆さんの学業・研究及び生活を支える独自の組織が整備されたということです。

二つには、2003年10月1日より、「福井大学」と「福井医科大学」は統合し、新しく三つの学部を擁する、新しい「福井大学」が誕生するということです。留学生センターもこの新しい「福井大学」の留学生センターとして出発することになります。そして、センター長以外に

新たに副センター長が設けられることになっています。

三つには、福井大学との学術交流締結校も近年急激に増加し、現在では大学間交流協定校は20機関、部局間交流協定校は26機関に達しています。このことと関わって、留学生の数も増え、現在では204名に達しています。10月から出発する「福井大学」では、福井医科大学の交流協定校と留学生も加わりますから、それらの数はさらに増えることになります。他方、文部科学省は留学生に関して今後量よりもむしろ質の向上に重点を移し、さらに留学生の受け入れだけでなく、海外に日本の学生を留学させることも重視すると言っていますので、福井大学留学生センターとしてもその課題にいかに対応していくかを真剣に検討していく必要があります。すでに質的向上の観点からも、2004年秋から日韓共同理工系学部留学生の受け入れを決定しています。

四つには、先の黒木教授の期待とも間接的に関わっていますが、留学生と地域社会との交流のことです。このことについては2002年9月に福井大学で開催された「福井大学国際コンgres2002」の一環として留学生センター主催の「留学生と地域社会の相互交流活動推進に向けて」というフォーラムでもいろいろな角度から議論され、またその報告書も出されていますからご存知のことと思います。2003年秋には、文部科学省より予算が認められ、前年度の継続という形で、帰国留学生も招待して「留学生と地域社会の相互交流活動推進に向けてー地域連携組織の構築及び帰国留学生とのネットワーク構築を目指してー」というテーマのもとで留学生国際シンポジウムを開催することになっています。地域社会でも国際交流活動が盛んになり、また小学・中学・高校までの学校でも周知の“総合的学習の時間”と関連して国際理解・交流活動が計画・実行されており、それらと留学生の興味・関心が合致して各地で交流活動がますます盛んになっていることは以前は想像だになかったことです。これらの交流のあり方（例え

ば、2002年のフォーラムでは、交流支援行事参加者には双方向に支援意識の存在の重要性が指摘された）も今後生産的に探求する必要がありますが、留学生センターとしては、それらの活動と留学生本来の学業・研究活動をどのようにすればバランスあるものにできるのかを常に念頭においていなければならないと思っています。これも今後の課題であると思います。

最後に、2003年7月に国会で国立大学法人化法が可決されて、2004年4月1日から福井大学は「国立大学法人福井大学」に移行することになります。前述のように2003年10月からは福井大学は福井医科大学と統合した新しい「福井大学」が誕生し、その大学が2004年4月から「国立大学法人福井大学」に移行するという大きな制度変更があるということです。ここでは変更を簡単に説明できませんが、来年4月に行われるこういった大きな制度変更にも今年から準備的に対応しなければならないという意味において、今年は「新たな目標にむけて飛躍していく出発点としての年になる」と言えるのです。すでに帰国された留学生の皆様、さらに現在福井大学で学んでおられる留学生の皆様も我々と一緒になって福井大学の教育・研究が一層よくなり、留学生の皆様も心配なく勉学に励んだり地域社会と交流ができるようになるにはどうすればいいかを考えていただければ幸いに存じます。一緒に新しい福井大学を築いていきましょう！

Egypt—7000 years of civilization



大学院教育研究科研究生

Sheta Sameh Salah (Egypt)

Egypt is the cradle of a deep-rooted civilization whose history goes back to more than five thousand years.

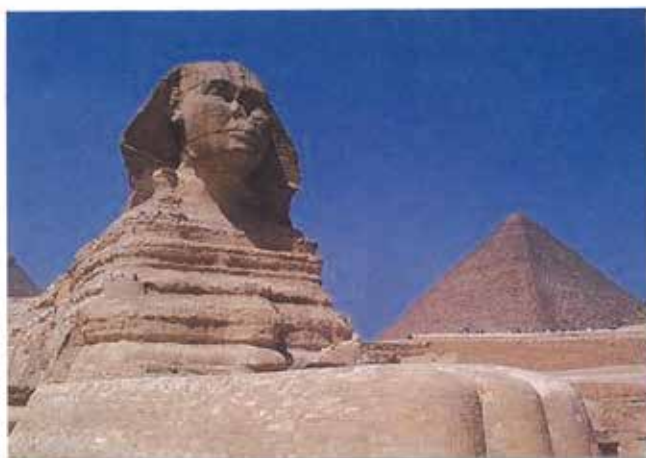
It is the museum of history and the melting pot of the greatest civilizations throughout the ages.

On it is land the Pharaonic, Greek, Roman, Christian and Islamic civilizations flourished.

Every inch on its land tells a tale or a legend and leaves a riddle that perplexes scientists and thinkers throughout time.

On its land there lie treasures which reveal every day one letter of the alphabet of civilization and mysteries of human miracles in all fields such as mummification and astronomy.

In its land arts grew, sciences flourished and holy religions found a safe haven and received a warm embrace of the monotheism until they took root and blessed the world with the light of faith.





*Attraction that Egypt possesses have placed in the vanguard of the world countries and the most attractive to tourists by virtue of the plenitude the tourist longs for where he finds a vast tourism variety including : Cultural , Religions , Recreational , Safari , Therapeutic and Sports tourism .

What do you know about Egypt?

- * The area of Egypt amounts to one million square kilometers.
- * Its population amounts to 71 million, most of them live in the cities and villages boarding the banks of Nile.
- * It is bounded in the north by the Mediterranean Sea, in the east by the Red sea, in the west by Libya, and in the south by Sudan.
- * The official language is Arabic, a considerable percentage of the Egyptians command foreign languages.



The climate:

* Egypt enjoys an ideally moderate climate, for the sunshine most of the year on average of eight hours daily.

* Rainy days are few, even in summer (from June to august), for the north wind blowing from Europe cools off the weather.

* Although the climate of the desert areas of the country is hot, the Nile valley retains its well-balanced moderate climate throughout the year.



Egypt with its nature and sunshine welcomes its visitors and invites them to spend vacations full of joy, rich in culture and knowledge together with unforgettable memories on the banks of the Nile.



Hello English Project



工学部電気電子工学科4年
Safizan Binti Shaari (Malaysia)

私は今年の5月から来年2月まで磯部小学校で英語指導助手として3年生を担当しています。最初の授業では何を教えればいいのかわかりませんでしたが、小学校の先生から色々教えていただいて少しずつわかってきました。生徒に教えるのは一見簡単に見えるのですが、実際に自分で子供たちに教えますと大変難しかったです。私はできるだけわかりやすく楽しく英語を教えたいと思っています。クラスの中ではあまり真面目すぎる授業ではなく遊びみたいな授業にしたいです。たとえば子供たちと英語の歌を歌ったり、BINGOゲームをやったりして、またマレーシアの紹介もしたいと思います。

Hello English Projectに参加して本当によかったと思います。色々な経験ができて、自分も勉強になります。きっと将来にも役に立つと思います。



英語で答えてください



英語で遊ぼう

福井県坂井郡丸岡町教育委員会「Hello English Project」で
福井大学留学生が英語指導助手として通う小学校



高椋小学校4年1組

子どもと楽しむ国際交流



本間 きみこ

みなさんこんにちは。私は、現在、留学生寮の近くに住んでいます。東京から福井に引っ越してきて早5年が経ちますが、引っ越して間もない頃は、仕事が大変忙しく、留学生の人達とはおろか、近所の日本人ともまったく交流がない状態でした。しばらくして子どもも生まれ地域に馴染み始めた頃、留学生とも

親しいお付き合いをするようになりました。

ある時は、近所のスーパーで、またある時は子どもを遊ばせている公園で、何回か見かけるうちに、お互いに顔馴染みになり、そのうちどちらともなく挨拶をしたのがきっかけだったように思います。(残念ながら、1年間挨拶ばかりで終わってしまった方もいますが。(^^;))実は、私の側には、恥ずかしい気持が少しあり、挨拶から、次に何を話していいかわからないことがありました。私は30代の主婦で、若い学生さんとは気が合うことなんてない、それに、難しい専門の話なんて、絶対できないし... と、勝手に自分が留学生と仲良くなりたい、という気持を封じてしまっていたのです。ところが、留学生の方達と話していくうちに、子ども好きな人はもちろん、自分と年齢がそれほど変わらない、あるいはしっかりされている方が多いこともあり、年齢差を全く感じさせずに友達づきあいが自然に出来るようになり、「留学生＝外国人＝話しが合わない＝世代のギャップもある」が私の中でいつのまにかすっかり消滅してしまっていました。(笑)

留学生の中には、ご家族一緒に日本に来た方もいます。私の子ども達とも、言葉の壁を超えいつのまにか仲良くなっている姿を見ると、微笑ましく思います。以前、ちょっとだけびっくりしたのは、ある学生から「日本人はなかなか自分の家に人を招待しない」という意見を聞いたことです。確かに親戚、兄弟といった身内での集まりは時々義務的にあっても、日ごろから人をもてなす、という家庭は、福井は特に共働きの家庭が多いので、難しいかもしれません。でも、留学生の皆さんに是非伝えたいのは、私も含めて、実は日本人のほとんど(小さい子から大人まで)は、海外から来た人と関わりたい、仲良くなりたい、という想いがあるのですよ。そのことをどうか忘れないでください。そして、もし、「私の家に遊びにきてください」と言われたら、「では、いつ遊びに行くこ

とができますか？」と思い切って聞いてみて下さい。これは私自身の反省もあるのですが、何人かの知り合いになった留学生に「遊びにいらっしゃい」と「リップサービス」をしておきながら、ついに、具体的な約束をせずにお別れしてしまった、ということが何回かありました。

現在は、留学生のご家族と子どもも交えて嬉しいお付き合いをさせて頂いていますが、どうかこれをご覧の日本人のみなさんも、肩肘張らずに、簡単にお茶でも、買い物でも、是非留学生と過ごす機会を増やしていただけたら、と願うものです。



ゆきのパーティー

ペルー料理「Cebiche」



大学院工学研究科博士前期課程材料開発専攻 1 年
Luis Enrique Oshiro Miyashiro (Peru)

Cebiche, also spelled Ceviche or Seviche, is considered by most to be the national dish of Peru. It is traditionally made with raw fish, which is marinated in lemon (or other citrus juice together) with salt, chillies, onions and garlic. The acid in the lemon juice together with the salt, stops the growth of micro-organisms in the fish and at the same time softens the fibers as they permeate the flesh. It is traditionally served with slices of cold sweet potatoes or corn-on-the-cob but is also good served on salad leaves with sweetcorn kernels.

The dish originates from colonial times when Peruvian fishermen used to use raw diced fish as bait or cebo which is the Spanish word for bait. When they got hungry whilst fishing, they added salt and lemon to the diced fish and ate them.

Through the years, this practice became more widespread throughout Peru with folk other than fishermen and whilst the dish is essentially the same as a few centuries ago, it has been augmented and refined, in particular with the use of seafood such as prawns, squid and lobster.

Ceviche is usually served as an appetiser or light lunch and is so popular in Peru that they have restaurants specialising in Cebiche dishes called Cebicherias. The dish is also popular in other Latin American countries but Peruvian Cebiche rules - OK.

You can use whatever fish or seafood you like so long as you use only the freshest of fish, preferably sashimi grade. If in doubt, DON'T. As texture is important to this dish, do not use previously frozen fish.

Recipe

The recipe below explains the preparation of cebiche called mix cebiche, the original dish only contains raw fish, without sea food. This recipe is for 4 persons as a main course or 6 as a starter

Ingredients

450g/1lb raw seafood
e.g. Prawns, Squid,
meaty fish Fillets
(marlin, tuna, sea bass,
snapper)

1 Red Onion,
finely chopped

1 Garlic Clove,
crushed

1 Chili, deseeded
and chopped

Salt and black pepper

The Juice of 5 Lemons

2 tbsp freshly chopped
Coriander (Cilantro)

Instructions

1. Prepare the seafood:-

Prawns - peel, de-vein and wash in cold water.

Squid - clean, wash in cold water and cut into thin strips.

Fish fillets - clean, wash in cold water and cut into strips.

2. Bring a large pan of salted water to the boil, add the prawns and squid and poach 30 seconds. Remove from the heat, drain well and cool in iced water. Drain well and dry on kitchen paper.

3. Place all the ingredients in a mixing bowl and mix to coat thoroughly. Refrigerate for 4-6 hours before serving, turning several times during marination.



Please try it and have a "Buen provecho"
(good appetite)

‘日本人から見た留学生’



教育地域科学部(地域文化課程 異文化交流コース)2年

岡村 香緒

福井大学の留学生のみなさまと元留学生のみなさん、こんにちは。
‘はじめまして’の方が多くと思います。今回、昨年とても楽しく
読ませて頂いていた「こころねっと」に、私の文を載せていただ
けると聞きとてもうれしく思っています。「日本人から見た留学生」
ということで頼まれたので、私が初めて留学生センターの活

動に参加した、昨年の冬のことからお話したいと思います。

その日、留学生の友人に誘われた私は、初めて活動に参加するために一人で留学生センターの扉を開けました。その当時、私にとって留学生センターこそがすでに異文化の地であり、研究で忙しい友人を待ちながら、一人、とても緊張していたことをよく覚えています。そんな中、留学生の方たちは私に、本当にやさしくしてくださいました。日本語がしゃべれる方ばかりではなく私の英語もとてもおぼつかない中でしたが、とても緊張していた私がリラックスできるように、机の向かい側から微笑みかけてくれた人、私の英語を根気よくゆっくりと聞いてくれた人。また、活動終了後、うっかりかばんを置いたままラウンジを出てしまい困っていた私を見て、英語が出てこなかった私の目の訴えだけで（^^）だまって鍵を開けて来てくれた人。みなさん初めて会う人ばかりで、名前も知らない方ばかりでした。このような中で、私が留学生の方達に対してもった印象は、「やさしい人」というものでした。それから私は留学生の方とのいろいろな活動に参加するようになり、今ではとてもたくさんの留学生の知り合いができました。そしてもちろん今でも私の留学生の方への、最初に持った印象は変わっていません。少なくとも私の知っている留学生の方は、みなさんとてもあたたかく、やさしく、またとても友好的です。

そんな中、ここで私の中に一つの疑問点が浮かんできました。留学生と一言で言ってしまっても、みなさん、世界のいろいろな国から来られた方たちです。育ってきた言語も生活習慣も全く違う人がほとんどのはずです。なのに、なぜたくさんの留学生の方に、この共通したやさしさや友好性が見られるのでしょうか。私はこれをとても不思議に思っていました。しかし、私がいろいろな国から来た、いろいろな考えを持った留学生の方たちと出会っていくうち、私は少しずつ、国 国籍の違いということの重要性のなさを感じていくようになりました。

日本人にだっていろいろな人がいます。活発な人、穏やかな人、私達は普段それを当然のことと

して受入れています。それは日本人以外の人でも全く同じ事なのですよね。

ちょうどそんなことを考えていたころ、ある留学生の人が「地球人」ということばを使っているのを聞きました。保守的な日本人の例外にもれず、そんなことを考えたこともなかった私にとって、それはとても驚くべき言葉でした。そしてすぐにこの言葉がとても好きになりました。もちろん国民性（nationality）もとても大切なことの一つですが、その前に、みんな同じ人間なのですよね。

育ってきた国を離れ、日本でいろいろな国から来た人たちがいつも接している留学生の方は、このこと実感しており、そこからあの、やさしさや友好性がうまれているのではないかと私は思っています。

みんながその精神でいることができれば、きっともっとすばらしい世の中になるのでしょうか。私は、世界中にいる留学生の方たちがその鍵を握っているように感じています。

また、私は留学生センターや異文化交流コースで開かれている活動に参加するうち、本当にたくさんの友人をつくることができました。友達は永遠の宝です。そんな私は今、とても幸せです。ただ、まだまだ日本人学生と留学生との交流は少ないのが現状です。特に日本人学生の場合、興味をもっている人は多いと思うのですが、なかなかきっかけがつかめない人が多いようです。

日本人学生のみなさん、ぜひ一度何かの活動に参加してみてください。例え一人で行ったとしても留学生の方は、とてもあたたかく迎えてくれます。もし言葉のことを気にしているのであれば、それはそれほど重要なポイントではありません。私が初めて活動に参加したときの前に述べた体験には、言葉はありませんでした。けれど確実に、そのとき、その人たちとはここが通じあっていたと感じています。こんな経験は滅多にできるものではありませんよ。

私自身、そのような「こころの交流」ができたことをとても幸せに思っています。私は異文化交流コースの学生ですし、異文化交流にとっても関心があります。でも、これからはそんな「こころの交流」もとても大切にしていきたいと思っています。その時、この「こころね」とは、そんな私をとても助けてくれることでしょう。

福井大学のすべての留学生のみなさんが、帰国するときに「日本に来て良かった」「福井に来て良かった」と思っていたらとても嬉しいです。そのために、私に何かお手伝いできることがあれば喜んで協力させていただきます！

最後になりましたが、留学生のみなさんのこれからの留学生活が、楽しく充実したものになりますよう、心よりお祈りしています。

A Recipe of learning Japanese



大学院教育学研究科研究生

Janine Megumi Hoefer (Germany)

Before I start explaining my experience of learning a language, I would like to point up that no matter in which foreign country you live it is very important not only to learn the language, but also to like the culture and the people. I think it helps a lot if you are well "prepared" when getting in touch with a foreign

environment.

For learning a language, in this case Japanese, you need the following "ingredients":

- * Quite a fair amount of motivation and endurance

- * "Errare humanum est" should be your principle

- * Being open, social and adaptable

1. First of all learn the vocabulary of daily life, like greeting, self- introduction, emotions, weather, shopping, travel, etc.

2. After getting used to the words, add the writing of hiragana, if possible also katakana and easy kanji, step-by-step.

3. Active Learning: Find ways to get in touch with Japanese people, like joining local events, club activities, parties. Conversation is the main point!

4. Passive Learning: Watching TV. In the beginning maybe short and easy TV programs, like CM or kid's program, later dramas etc.

5. Finally upgrade your vocabulary and kanji knowledge little by little.

I hope this recipe would be helpful for some of you to master Japanese!

Gambatte ne!

一つの日本語学習のレシピ

ヘーファー・ジャニーン メグミ

私の日本学習法を紹介する前にちょっと指摘したいことがあります。どんな外国の国に行ってもその言語の学習だけではなくその文化や人々も好きだということは大事だと思います。他国の環境と接触するまえに充分に覚悟したほうが役に立ちます。

外国語—この場合は日本語—を学習するために次の「材料」が必要です。

* 大量の熱狂や根気

* 「あやまちは人の常」は原則

* オープンな社会的な適応性のある性格

1. まず日常の日本語を習いましょう。例えば、あいさつ、自己紹介、感情、天気、買い物、旅行など。
2. 言葉に慣れてからひらがな—なるべくカタカナや簡単な漢字も—の書き方を一步一步覚えましょう。
3. 積極的な学習：日本人と接触しましょう。例えば、地方のイベントに参加、クラブ活動またはパーティー。会話は重要な点です！
4. 消極的な学習：テレビを見ましょう。始めに短く簡単なテレビ番組はお勧めです。例えばCMや子供の番組、その後ドラマ等。
5. 最後に語彙と漢字の能力をだんだん向上させましょう。

このレシピが日本語に熟達するために役に立つよう望みます。

頑張ってね！



What's in Fukui Culture that Makes Difference in My Life?



大学院教育学研究科研究生

Nancy D. Refugio (Philippines)

The first few months of my stay in this place is not a big struggle to make life worthwhile. Fukui City with its simplicity and comfort makes me feel at home. The rich cultural diversity really amazes me. Cultural activities are held not just for fun and enjoyment, not just for showing off how rich the place in cultural aspect is but also showcase how the towns people open up to make

us (ryugakusei) feel that we belong.

How will a foreign student know the richness of Fukui and be a participant in them ? The barrier in the language is not entirely a big deal to be involved. Fukui University does not only cater for the academic growth of its foreign students, adjacent to it is their concern to the social life of the foreign students. That is through the effort and programmes nudged by the International Student Center spearheaded by Prof. Nakashima.

Almost every week a specific activity is held and can be participated by anybody who is interested. Such activities that depict cultural values are festivals, planting rice, ikebana and taiko classes, yosakoi, international exchange programs sponsored by the different schools, games, weekly chat or a relaxing movie after Wednesday classes together with friends in the International Lounge.

Another thing that I don't want to miss in this write - up is the experience I had in a particular group that I was lucky to find through the kindness of my senmon-sensei Prof. Hideo Teraoka. Going to



the place alone a rich culture is reflected. Farmers do their works through rice and wheat paddies besides imposing and distinct Japanese houses, temples, and the lively sight of their past time activity, Pachinko. Japanese restaurants that serve mouth watering Japanese cuisine - sushi, sashimi and my favorite tempura. And when you reach the place, Nishiyama Zoo of Sabae, there's no mistaking on how the people take charge to preserve the beauty of nature.

The beautiful comforting sight of the landscape at the foot of the mountain, the wide array of tsutsuji in different colors on the slope of the mountain, and the well taken care animals in the zoo at the top of the mountain are the welcoming offerings of the place. Bird watching, participating in the Children's Day where children make their own animal mask, and being in the cleanliness campaign are worth to be remembered in the future when my



stay here finishes.

The easy and comforting culture that abound in this beautiful place

of Fukui is extended to the timeless serenity of the entire place and thus make difference to the foreign students that are lucky to live here and that includes me.

モンゴル語の挨拶表現



大学院工学研究科博士後期課程システム設計工学専攻1年
Chuluunbaatar Batchuluun (Mongolia)

皆さんにモンゴルの挨拶をすこしだけ紹介します。

まず最初に紹介することは「Sain baina uu?」（サインバイナウー）です。これは「こんにちは」という意味です。「Sain baina uu?」と挨拶すると、「Sain, Sain baina uu?」と答えます。

「Sain baina uu?」はていねいな挨拶ですから、年が同じあるいは年下の人には「Sain uu?」（サイン ウー）といいます。もちろん「おはようございます」「こんばんは」というような挨拶はありますが、通常の生活においてはほとんど使われることはありません。つまり「Sain uu?」が朝から夜まで使われています。

次によく使う挨拶の一つは「bayarlalaa」で、「ありがとう」という意味です。

ひさしぶりに会う人たちの挨拶は季節によって違います。たとえば春には「saikhan havarjij baina uu?」と挨拶します。これは「良い春をおすごしですか」という意味です。「Ajil amidral sain uu?」と挨拶されたときには「sain」と答えます。これは「元気で仕事をがんばっていますか」という質問に「はい」と答えています。

そして「さよなら」は「bayartai」というふうに言われています。ただ、別れる時は「Saikhan amraarai」ということもあります。これは日本語でいうと「おやすみなさい」という言葉です。

こんにちは	Sain baina uu?
おはようございます	Ugluunii mend hurgie!
こんばんは	Oroin mend hurgie!
たいへん ありがとう ございます	Ih bayarlalaa.
ごめんなさい	Uuchlaarai.
それでは さよなら	Za bayartai.
さようなら また あう 日 まで	Tur bayartai.

言葉が少しでもわかると、旅の楽しみは倍増します。モンゴル語は日本語と語順や構造が似ているので、日本語を話す要領で単語をどんどん並べていけばOKです。基本的な挨拶＋単語＋身振り＋表情で、十分！

ではモンゴルを楽しんで旅行してきてください。



Batchuluunさんの家族

弓道部紹介



大学院工学研究科博士前期課程生物応用化学専攻1年
伊納 明男 (日本)

よく人から「弓道って、どんな感じ？」と、いう質問を受けたりします。はっきり言って弓道は剣道、柔道、相撲など日本独自の競技の中でもマイナーです。想像はできるが見たこと無いというのが大抵の人の意見だと思います。それはなぜか？その答えは簡単です。見ていてもつまらないからです。そのためテ

レビ等には滅多に映ることがないです。しかし、弓道の本当の面白さは的に向かい、矢を放した瞬間、初めて分かります。始めのうちは的にうまく当ることができず悔しい思いをしますが、当りだすと病みつきになります。そのため、どんな感じと言われても、僕としては「とりあえず、やってみな」としか言えません。

弓道において必要な道具は、弓、矢、ゆがけ(指が弦の圧力によって痛まないように保護するための用具)の三点だけです。しかも、相手がなくてもできると云う特異な運動なので、年齢、性別、体力を問わずに練習が始められます。そのため、練習次第では女性が男性よりも、また先輩よりも後輩のほうが強いことも多々あります(不思議と福大で一番うまい人は女性が多いです)。しかしその反面、相手がいないことは試合などで負けても「相手が強かったから」などという言い訳はできず、自分自身の技術、心の弱さがそのまま結果として残ると言う厳しい面も持っています。このため弓道は他のスポーツに比べ精神面を鍛えるにはとても適したものだと思います。



福大弓道部では大学内にしかも、弓道場としては大きめの道場を保有しており、好きな時間に好きなだけ弓矢が引けるという素敵な条件下で日々、練習をしています(ただ、教育1号館の裏にあるので知らない人が多いです)。もし、これを機会に日本独自の文化、弓道をしてみたいと思った方は是非、弓道場に来てください。本当の弓道の楽しさを体感できることを約束します。



国際交流は子どもから始めましょう



大阪外国語大学博士後期課程1年
(福井大学教育研究科修士課程修了)
陳 梅隱 (中国)

私は中国からの留学生の陳梅隱と申します。今は大阪外国語大学で研究していますが、大学院前期までの日本での最初の三年半は福井大学で過ごしました。とても楽しい三年間でした。

福井大学時代、私は教育学研究科に所属していましたが、私がいた研究室には現場の先生が何人かいました。そして、これが私が日本の小学生たちと交流するきっかけになりました。その中で交流回数が一番多かったのは大野坂谷小学校の四年生の皆さんでした。これは担任の吉田先生が研究室の先輩で、毎年留学生と小学生たちとの交流をしていたためでした。

初めはドイツの留学生のペトラさんとバオロスさんと一緒に互いに挨拶したり、子どもたちの質問を受けたり、それぞれの国のゲームを遊んだりして、楽しい一日を送りました。

その後の夏休みに子どもたちとバーベキューをし、秋には各国の料理会もしました。この料理会では、二つのグループに分かれ、一つのグループの子どもたちは日本の伝統的なおでん、炊き込みご飯とデザートを作っていました。もう一つのグループは中村優加ちゃん、岸本峰波ちゃん、内藤隆介さんと私の四人で中国料理を作りました。初めて会ったときの自己紹介で、自分が四川省の出身で、辛い物が大好きと言ったところ、子どもたちから本場の辛さに挑戦してみたいという意見が出ました。そのため、四川料理の定番の麻婆豆腐を作ろうと思いました。そして、私の友達に評判がよく、野菜たっぷり、辛くないワンタンも作ることにしました。その料理会で、子どもたちは教えるとすぐにワンタンの作り方を覚えて、きれいに包んでくれました。そして、野菜を洗ったり、ネギを切ったりして、いろいろ手伝ってくれました。

二時間後、二つのグループの料理が完成しました。ワンタンはよくできて子どもたちに「おいしい」と言われました。問題なのは麻婆豆腐でした。子どもですから「手柔らかに」辛さ加減を控えましたが、多くの子どもたちに「陳さん、辛い～」と言われました。でも、辛いものが大好きのような田中俊輝くん「陳さん、おいしい、おいしい」と言



われました。ちょっと残念な気持ちが残りましたが、すごく楽しかったです。

福井を離れる前の2月20日に子どもたちと別れのあいづをするために、総合学習の発表会に出席しました。子どもたちは一年間の全ての活動をパソコンでまとめて、他学年の皆さんの前で発表していました。そして、辻雄介くんが私の書いたレシピでお母さんに麻婆豆腐を作ってもらってきて、他の学年の学生と先生たちに食べてもらいました。評判は意外とよかったです。最初全然お箸で触れない子が誰かに「あっ、おいしい」と言われた後に、もりもり食べていました。何人かの先生にも「雄介くん、レシピを教えて」と言われて、嬉しくて「やった」という気持ちになりました。

この一年間の子どもたちとの交流で、充実した生活が送れたと同時に子どもたちからいろいろもらいました。私の日本語を直してくれたり、大自然で探検したり、ゲームをやったりして、日本の小学生の生活が分ると同時に、私が福井にいた三年間の一つの大変な思い出となりました。子どもたちが私が伝えた中国を自分の家族、友人に広めるようになりました。国際交流は子どもから始めましょう！

留学生在学状況

(2003年9月現在)

	学部 学生		大学院生			研究生		科目等履修生 聴講生		合計
	教	工	教	工		教	工	教	工	
			修士	修士	博士					
インド							1			1
バングラディシュ					4					4
タイ					1		2			3
マレーシア		20		1						21
インドネシア				1	3					4
フィリピン		1				1				2
韓国			1	1	3				1	6
モンゴル		1			1					2
中国	10	22	12	33	24	6	8	5	21	141
カンボジア		1								1
台湾					3				1	4
シリア									1	1
パレスチナ									1	1
エジプト						1				1
メキシコ						1				1
ブラジル				1	1	1				3
ペルー				1	1					2
ホンジュラス					1					1
ドイツ					1	1		1		3
ポーランド							1	1		2
	10	45	13	38	43	11	12	7	25	204
				81						
	55		94			23		32		

帰国留学生からのメッセージ

Julia Hoffmann

(Germany, 1999.10-2000.9, chulia@gmx.de)

今年（2003年）6月ドイツハンブルク大学を卒業して、引っ越し日が迫ってきました。部屋の片付けの時、アルバムが手に入った。久しぶりに福井にいた時の写真を見ながら、なつかしくその一年間のことを思い出しました。最初、あまり福井に行きたくなかった私は、一年間経ったら、とてもよくて、経験が一杯の一年間であったと分かりました。今でも、その時に出会った日本人と外国人と連絡を取っているのも、たいへん嬉しく思っていますよ。こういうすばらしい出会いは皆さんにもあってほしいです。



Senno Susanto

(Indonesia, 1979.4-1983.3, oplic@indosat.net.id)

20years have passed since I graduated from Fukui University as an undergraduate student. During my period of study, there were very few foreign students. I was the first Indonesia student to study here. It was grown to a total number of 72 foreign students in year 2001. The country of origin of foreign students enrolled in Fukui University was about 44. This figure shows that Fukui University has been transformed into a multi-racial and multi-cultural academic institution.

In year 1985, I obtained my master degree in Electrical Engineering from the University of Michigan, Ann Arbor, USA. After graduating, I moved to Singapore and joined Texas Instruments as an optical industries mainly in manufacturing spectacle frames and lenses. If anybody who know somebody in eyewear business who would like to venture abroad, please feel free to contact me.

Finally, I would like to take this opportunity to thank many professors especially Prof. Taniguchi, Prof. Iwazawa, Prof. Koizumi, Prof. Yamamoto, Prof. Nakagawa, university staffs and classmates for teaching, guiding and sharing your valuable experiences with me. My 20 years memory in Fukui will never fade.

Ong Kiat Chuan

(Malaysia, 1988.4-1992.4, boonchoo@pd_jaring.my)

「こころねっと」の発刊、おめでとうございます。

卒業してから、「福井大学」をよく思い出しました。今、「こころねっと」を通して、自分の思い出を身近かに感じています。本当に嬉しいことです。

私は2人子供をもっています。現在ToshibaのTV stand生産の日系企業のR&Dで働いています。毎日、家庭と仕事で忙しく過ごしています。

私を覚えている人はお元気ですか。暇な時、私のE-mailに連絡してください。日本語でもかまいません。

福井大学の建築・建設の先生たちはお元気ですか。最後に大学時代、お世話になった学校の皆さん、先生たちに又、留学生の皆さんも頑張ってください。

葛明橋

(中国,1990-1992, 1995.12-1999.3, gemq@pub.wx.jsinfo.net)

福井大学の先生と皆様によりしくお伝えください。

私は1990年10月～1992年9月まで、及び1995年12月～1999年3月まで通算5年間福井大学に留学しました。現在中国江南大学で教授を務めています。去年の8月福井大学と江南大学は姉妹学校協定を結びました。福井大学の先生方々と交流が非常に多いです。これからも両校の交流等の為にがんばります。

謝学理

(中国,1991.10-1992.9)

福井大学「こころねっと」がよく届き、あたたかい気持ちがいっぱいです。国際の掛け橋として、人の心と関係が一番大切です。この面について福井大学の留学生センターはとても努力的に勤めています。



柴軍瑞

(中国, 1997.10-1998.9 jrchai@xaut.edu.cn)

From 1997.Oct to 1998.Sept, I studied at Fukui Takuo Research Group in Fukui University. I would like to give my thanks to Prof. Fukui Takuo, the members of Fukui Takuo Research Group, the officers of International student center, and many Chinese students in Fukui University, also give my best wish to Fukui University. I would be very glad to become a member of Fukui University Alumni Society.

安慶哲

(中国, 2000.3-2001.3)

おはよう。福井大学、暖かく大地を照らして、すくすくと草花を成長させていく。朝日のように輝いている。福井大学、懐かしいね。福井大学での楽しかった一年間の研究生活、忘れない思い出になりました。寺岡先生のもとでたくさんのがが学べ、いろいろと研究でき、帰国後それを生かして高校生たちに日本の文化、歴史、風習を教えており、福井大学を紹介し、福井市の名所旧跡—東尋坊、足羽川の桜などを紹介し、福井市民たちの暖かい心を伝えております。福井大学への留学を希望している学生も増えていきます。

張敏蓉

(中国, 1992.4-1996.3, zhangminrong1963@soho.com)

福井大学での勉強は私の人生にとって、非常に大切な体験でした。ここでもう一度私の指導教官田川健吾先生、小林克己先生及び私たちに関心を下さった学校の方々に感謝いたします。

私は1996年4月卒業した後、福井の建築会社に勤め、1999年8月に帰国しました。現在深圳で日系貿易会社で勤めています。皆さん、もし深圳にいらっしゃったら、ぜひ声を掛けて下さい。

楊建中

(中国, 1985.10-1988.3, jz_yang_2001@yahoo.com)

ご無沙汰しております。

私は福井大学修士課程を修了した後、大阪市立大学博士課程へ進学し、1999年3月工学博士号を修得しました。その後、アメリカへ渡り、バージニア州立大学とアリゾナ大学の博士研究員を経て、1996年にP&Gに入社しました。しばらくシンシナッティにある研究所に勤務した後、1996年4月より神戸テクニカル・センターに移り、現在はヘア・ケア技術の研究開発を担当するプリンシパル・サイエンティストです。世界中の人々の髪がより清潔で美しくなるためにがんばっています。

福井大学での留学経験は私にとって、人生の中の貴重な財産です。福井で学んだことはその後の勉強・研究の基盤となっています。また、すばらしい先生方、留学生及び日本人の友人方との出会いは忘れがたい大切な思い出となっています。

母校の更なる発展を祈ると同時に、力のできる限り協力していきたいと思います。



Albert Vreto

(アルバニア 1992.4-1998.9 vretoalbert@hotmail.com)

I studied at the Fukui University for six and a half years and it gave to me the opportunity to learn about the Japanese culture, to participate in many activities, to visit many places etc.

But there is something that I enjoyed too much, the cherry blossom. The spring is very beautiful in Fukui. As the winter has gone the nature becomes very lovely and then the cherry blossom fills everybody's heart with happiness. During that period I was going often along the Asuwa river bank in order to watch better the view of cherry trees. Every year my classmates were organizing parties in different places in Fukui City and inside the



campus. Sitting under the cherry trees, chatting with friends and eating was very pleasurable. I am grateful for this beautiful Japanese custom.



尾文秀

(中国, 1996.10-1997.9, hwxsxj@public.xa.sn.cn)

時間の経つのは本当に早いものです。日本から帰国していたんもう少して六年になりますが、短い一年間の留学生活は今でもありありと目の前に浮かべます。先生岡崎英一助教授はやさしくて近づきやすい方で、チューター岡本健作さんは人助けを自分の楽しみとして

いる方です。

クラスメートは生活習慣、風土文化、価値観の違う国々から来ていて、授業でおのの自分の意見を述べ、時々激しく論争もありました。一方、放課後はお互いに助け合い、身を惜しまずに勉強してきました。卒業してからもう何年間も経ちましたが、みんなは仕事上ではきっと素晴らしい成績をあげましたでしょう。ここで皆さんのお体は健康に、ご家族は幸せに、万事は思い通りであるようにお祈りいたします！

帰国留学生のe-mailアドレス

周軍明 (中国, 1990.10-1994.4, fjthzzjm@mail.hz.zj.cn)



2003.04.18 オリエンテーション



2003.05.16 福井大学中国留学生学友会



2003.05.30 福井大学祭



2003.05.30 福井大学祭



2003.06.04 国際交流ラウンジ



2003.06.30 ブラジルナイト



2003.06.30 ブラジルナイト



2003.07.23 中国ナイト



2003.08.05 奈良旅行東大寺



2003.08.06 奈良旅行帰りのバス



2003.08.07 国際交流キャンプ 越廬海岸



2003.08.08 国際交流キャンプ 越廬海岸



2003.09.20 オープンキャンパス



2003.09.20 オープンキャンパス

ぜひご参加ください!!

第2回留学生国際シンポジウム(ご案内)

- テーマ 留学生と地域社会の相互交流活動推進に向けて
-地域連携組織の構築、及び帰国留学生とのネットワーク構築を目指して-
- 日時 2003年12月2日(火曜日) 13:30-16:30
- 場所 福井大学総合研究棟Ⅰ 大会議室(13階)
- パネリスト 招聘帰国留学生8名、在学生1名
市民、教育界、産業界代表各1名
- 言語 日本語
- 参加予定者 150名
- 主催 福井大学、福井大学留学生センター
- 共催 福井県留学生交流推進協議会
- 協賛 福井県教育委員会
- 内容 ①相互交流活動での地域連携組織はどのように構築できるか。
(総合学習、地域経済活性化等)
②帰国留学生と地域社会との相互交流活動にはどんなものがあるか。
それを推進するために地域連携組織と帰国留学生同窓会はどのような
ネットワークを構築できるか。
③帰国留学生は相互交流のためにどんな活動ができるか。
その推進のために同窓会組織の連携をどう構築するか。
④帰国留学生は日本人学生の海外留学推進にどのような役割が果たせるか

****総合学習、国際交流、海外事業展開等の関係者他ぜひご参加ください。**

参加申込みは福井大学留学生課 Tel 0776-27-8404 Fax 0776-27-8519

またはE-mail: knaka@anc.anc-d.fukui-u.ac.jp

第1回福井大学帰国留学生同窓会大会

- テーマ 留学生と地域社会の相互交流活動推進に向けて
-福井大学留学生同窓会設立宣言と各国支部設立-
- 日時 2003年11月30日(日) 13:30-16:30
- 場所 福井大学創立50周年記念館(福井大学アカデミーホール)
- パネリスト 招聘帰国留学生13, 在日福井大学卒業生10名
福井大学在学中留学生、福井大学教職員
- 言語 日本語
- 参加予定者 100名
- 内容 ①同窓会設立宣言
②各国支部設立
③帰国留学生と地域社会との相互交流活動
④留学生同窓会各国支部の相互交流活動
⑤帰国/卒業留学生と在学留学生の相互交流活動



「こころねっと」編集委員会委員(当日会議欠席者を除く)

編集後記

昨年度に続いて、12月に第2回留学生国際シンポジウムを開催する。この冊子「こころねっと」、シンポジウム等を通して、国際的に活躍できる人材育成と、地域社会の国際化を推進するネットワーク作りを推進したい。そして、その核として留学生と地域社会の相互支援活動を展開していきたい。読者諸氏からの意見・アイディアをお願いしたい。

編集長 長谷川守男留学生センター長

編集委員 張冬(中国) 潘維国(中国) 李泰榮(韓国)

Chuluunbaatar Batchuluun(モンゴル)

Safizan Binti Shaari(マレーシア)

Mohd Helmi Bin Yahya(マレーシア)

Hoefer Janine Megumi (ドイツ)

Sheta Sameh Salah(エジプト)

Indra Adji Sulistijono(インドネシア)

Luis Enrique Oshiro Miyashiro(ペルー)

Ynoue Marcio(ブラジル) Macarambon Dumarpa Jr (フィリピン)

中島清(留学生センター)

表紙写真 第50回 福井フェニックスまつり Yosakoiイッチョライ

(International Club Yosakoi Team) 参加の留学生達

2003年8月2日&3日、86チーム参加

表紙背景 Chuluunbaatar Batchuluun(モンゴル)

福井大学留学生センターニュース「こころねっと」2003年秋号

2003年9月30日発行

発行 福井大学留学生センター

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号

International Student Center, Fukui University

3-9-1, Bunkyo, Fukui 910-8509, Japan

Tel 0776-27-8903 Fax 0776-27-8903

E-mail: knaka@anc.anc-d.fukui-u.ac.jp

<http://www.anc-d.fukui-u.ac.jp/kokoronet/ttp> :